

1. 就学前の教育・保育と幼保一体化

(1) 就学前の教育・保育（保育認定）

担当	幼児課 幼児施設課
----	--------------

児童福祉法に基づき、保護者が就労等により家庭で保育をすることができない乳幼児に対して、就学前の教育、保育を実施します。（対象年齢：0～5歳児）
【H31.4現状】認定こども園15園（公立5園、私立10園）、認可保育所15園（公立3園、私立12園）、小規模保育施設14施設、家庭的保育5施設、計画対象認可外保育施設3施設

量の見込み（計画と実績）

（単位：人、実績値：各年4月1日現在）

区分		参考	計画期間				
		H26	H27	H28	H29	H30	R1
0～2歳 (3号保育認定)	計画値 (量の見込)	—	1,341	1,409	1,470	1,588	1,594
	実績値 (申込数)	1,278	1,298	1,334	1,377	1,510	1,584
	増減	—	△ 43	△ 75	△ 93	△ 78	△ 10
3～5歳 (2号保育認定)	計画値 (量の見込)	—	2,033	2,076	2,093	2,320	2,347
	実績値 (申込数)	1,974	1,965	2,143	2,306	2,279	2,382
	増減	—	△ 68	67	213	△ 41	35
合計	計画値 (量の見込)	—	3,374	3,485	3,563	3,908	3,941
	実績値 (申込数)	3,252	3,263	3,477	3,683	3,789	3,966
	増減	—	△ 111	△ 8	120	△ 119	25

確保方策（計画と実績）

（単位：人、実績値：各年4月1日現在）

区分		参考	計画期間				
		H26	H27	H28	H29	H30	R1
0～2歳 (3号保育認定)	計画値 (確保方策)	—	1,283	1,402	1,470	1,506	1,649
	実績値 (定員)	1,097	1,282	1,393	1,432	1,524	1,606
	増減	—	△ 1	△ 9	△ 38	18	△ 43
3～5歳 (2号保育認定)	計画値 (確保方策)	—	1,867	2,029	2,093	2,147	2,352
	実績値 (定員)	1,784	1,867	2,063	2,138	2,159	2,204
	増減	—	0	34	45	12	△ 148
合計	計画値 (確保方策)	—	3,150	3,431	3,563	3,653	4,001
	実績値 (定員)	2,881	3,149	3,456	3,570	3,683	3,810
	増減	—	△ 1	25	7	30	△ 191

※確保方策(実績値)には、計画対象の認可外保育施設分(保育認定相当分)が含まれます。

R1年度の 計画進捗の状況等

量の見込みについては、3～5歳児での申込が増加したことにより、計画値をやや上回ったものの、ほぼ計画どおりであった。
確保方策については、実績値(定員)が計画値に対して△191となった。
量の見込みの実績値(申込数)と確保方策の実績値(定員)の差については、量の見込みの実績値が計画値を上回ったこと、および平成31年4月1日に定員拡大を予定していた既存施設2施設が、平成30年度に発生した水害・地震・台風等の自然災害で資材調達や人材確保ができなくなり工期が延長したことに伴い開園を延期せざるを得なくなったこと、また同日に新規開園を予定していた1施設も同様の理由で開園を延期せざるを得なくなったことによるものである。いずれの施設も令和元年度中に定員拡大、新規開園に至ったが、平成31年4月1日時点では△156となった。

『量の見込みの実績値(申込数)と確保方策の実績値(定員)の差

区分	実績値	参考	計画期間				
		H26	H27	H28	H29	H30	R1
量の見込みと確保方策の差		—	△ 114	△ 21	△ 113	△ 106	△ 156

1. 就学前の教育・保育と幼保一体化

(2)就学前の教育・保育(教育標準時間認定)

担当	幼児課 幼児施設課
----	--------------

学校教育法に基づき、就学前の幼児に対して、幼児期の学校教育を実施します。(対象年齢:3~5歳児)
【H31.4現状】認定こども園15園(公立5園、私立10園)、幼稚園8園(公立5園、私立3園)、計画対象認可外保育施設1施設

『量の見込み(計画と実績)

(単位:人,実績値:各年4月1日現在)

区分		参考	計画期間				
		H26	H27	H28	H29	H30	R1
3歳 (1号教育標準時間認定)	計画値 (量の見込)	—	447	513	577	461	602
	実績値 (申込数)	356	329	402	368	443	468
	増減	—	△ 118	△ 111	△ 209	△ 18	△ 134
4・5歳 (1号教育標準時間認定)	計画値 (量の見込)	—	1,456	1,489	1,499	1,315	1,211
	実績値 (申込数)	1,439	1,419	1,410	1,398	1,310	1,222
	増減	—	△ 37	△ 79	△ 101	△ 5	11
合計	計画値 (量の見込)	—	1,903	2,002	2,076	1,776	1,813
	実績値 (申込数)	1,795	1,748	1,812	1,766	1,753	1,690
	増減	—	△ 155	△ 190	△ 310	△ 23	△ 123

※量の見込みについては、教育標準時間を利用する保育認定対象者が含まれます。

※確保方策(実績値)には、計画対象の認可外保育施設分(教育標準時間認定相当分)が含まれます。

『確保方策(計画と実績)

(単位:人,実績値:各年4月1日現在)

区分	参考	計画期間				
	H26	H27	H28	H29	H30	R1
計画値 (確保方策)	—	2,098	2,054	2,049	2,085	2,179
実績値 (定員)	2,098	2,098	2,111	2,030	2,085	2,102
増減	—	0	57	△ 19	0	△ 77

R1年度の
計画進捗の状況等

量の見込みについては、3歳児の申込みが減少したことにより、計画値を123人下回った。
確保方策については、実績値(定員)が計画値に対して△77となった。
量の見込みの実績値(申込数)と確保方策の実績値(定員)の差については、量の見込みの実績値が計画値を下回ったことなどにより、+412となった。

量の見込みの実績値(申込数)と確保方策の実績値(定員)の差

区分		参考	計画期間				
		H26	H27	H28	H29	H30	R1
量の見込みと確保方策の差	実績値	—	350	299	264	332	412

1. 就学前の教育・保育と幼保一体化

(3)就学前の教育と保育の一体的提供(幼保一体化)の推進

担当	子ども・若者政策課 (幼児課)
----	--------------------

- 幼保一体化(認定こども園)の推進により、
- ①子どもたちに、質の高い就学前の教育・保育を提供します。
 - ②待機児童や就学前施設(幼稚園および保育所)の在籍状況のアンバランスを解消します。
 - ③3歳児への幼児教育の実施を推進します。
 - ④地域の子育て支援を充実します。

【H31.4現状】
 公立認定こども園5園
 私立認定こども園10園

計画と実績

(単位:①人,③園)

区分		参考	計画期間				
		H26	H27	H28	H29	H30	R1
①保育実践交流研修の実施	計画値(受講者数)	—	60	60	継続実施		
	実績値(受講者数)	72	102	88	81	66	70
	増減	—	42	28	△7	△15	4
②乳幼児教育・保育カリキュラム(共通カリキュラム)の推進	計画	策定	試行	モデル園での実施	全園(所)で実施・検討		
	実績	案作成	策定	実施・検証	改訂・検証		
	増減	—	—	—	—	—	—
③幼保一体化モデル園(認定こども園)の実施	計画値(開園数)	—	0	2	0	2	2
	実績値(開園数)	0	0	2	0	2	2
	増減	—	0	0	0	0	2

R1年度の
計画進捗の状況等

計画どおり進捗。
 市で策定した就学前教育・保育カリキュラム(乳幼児教育・保育カリキュラム改定)や接続期カリキュラムを活用し、公開保育や授業を実施しながら、質の高い教育・保育の実施や小学校への円滑な接続体制の充実を図ることができた。
 また、接続期カリキュラムの実践として、小学校1年生の入学時の学習状況や支援をさらに高めるための3週間チェック表を作成した。

2. 地域子ども・子育て支援事業

(1)地域子育て支援拠点事業

担当	子育て相談センター
----	-----------

◇つどいの広場
子育て親子が気軽に集い、子どもの成長や健康などの育児について語り合い、相談や交流するための場を提供します。(対象年齢:3歳未満)【H31.4現状】市内 2箇所

◇地域子育て支援センター
子育ての不安感・負担感の解消や、家庭の養育力の向上を図るため、保育園を活用し、施設の開放、育児相談、イベントの開催、園児との交流、情報提供を行います。(対象年齢:就学前)【H31.4現状】市内 2箇所

◇子育て支援センター
子育て支援の総合的な拠点として、親子が遊びながら交流できる居場所の提供、子育て相談、子育て支援に関する幅広い情報の一元化と提供、子育て支援に関わる方のネットワークの構築、人材育成、地域の中での子どもの預かりあいの促進等を実施します。(対象年齢:未就園)【H31.4現状】市内 1箇所

◇子育て支援拠点施設
子育て支援の総合的な拠点として、子育て相談センターや他の子育て支援施設、地域の子育て資源との連携・支援を行います。また、子どもとその保護者の交友の場の提供や子育ての相談の実施、子育てに関する情報発信などを行い、保護者の子育ての不安解消につなげます。(対象年齢:小学3年生まで)【H31.4現状】市内 1箇所

量の見込み(計画と実績)

(単位:人)

区分	参考	計画期間				
	H26	H27	H28	H29	H30	R1
計画値 (量の見込)	—	49,476	57,216	62,496	71,808	79,200
実績値 (延べ利用者数/年)	52,984	56,278	52,673	51,522	88,917	75,392
増減	—	6,802	△ 4,543	△ 10,974	17,109	△ 3,808

確保方策(計画と実績)

(単位:人)

区分	参考	計画期間				
	H26	H27	H28	H29	H30	R1
計画値 (延べ利用可能数/年)	—	60,560	60,560	60,560	83,011	87,515
実績値 (延べ利用可能数/年)	60,560	60,560	60,560	60,560	83,011	87,515
増減	—	0	0	0	0	0

R1年度の計画進捗の状況等

量の見込みについては、実績値(延べ利用者数/年)が計画値に対して△3,808となった。確保方策については、実績値(延べ利用可能数/年)は計画値どおりとなった。
量の見込みの実績値(延べ利用者数/年)と確保方策の実績値(延べ利用可能数/年)の差については、延べ利用可能数が+12,123となった。
この理由は、H30年に開設したミナクサ☆ひろばの利用が開設時に比べて落ち着いたことや、年度末に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため施設を休館したためと推測される。

量の見込みの実績値(延べ利用者数)と確保方策の実績値(延べ利用可能数)の差

区分	参考	計画期間				
	H26	H27	H28	H29	H30	R1
量の見込みと確保方策の差 実績値	—	4,282	7,887	9,038	△ 5,906	12,123

2. 地域子ども・子育て支援事業

(2)利用者支援事業

担当	幼児課 子育て相談センター
----	------------------

子どもおよびその保護者や妊娠している方等が、認定こども園、幼稚園および保育所での教育・保育や、一時預かり、児童育成クラブ等の地域子ども・子育て支援事業等の中から適切なものを選択し円滑に利用できるよう、身近な場所での情報提供や必要に応じた相談・助言を行うとともに、関係機関との連絡調整等を行います。

①計画と実績

(単位:①箇所,②人)

区分		参考	計画期間				
		H26	H27	H28	H29	H30	R1
①箇所数	計画値 (量の見込・確保方策)	—	1	1	1	2	2
	実績値 (配置数)	1	1	2	2	2	2
	増減	—	0	1	1	0	0
②人員配置数	計画値 (量の見込・確保方策)	—	2	2	2	6	6
	実績値 (配置数)	1	2	5	6	6	6
	増減	—	0	3	4	0	0
R1年度の 計画進捗の状況等		計画どおりに進捗。					

2. 地域子ども・子育て支援事業

(3)放課後児童健全育成事業(児童育成クラブ)

担当	子ども・若者政策課
----	-----------

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対して、放課後に適切な遊び、生活の場を提供し、児童の健全育成を図るため児童育成クラブ「のびっ子」を開設します。(対象年齢:小学生)また、放課後子ども総合プランにおける一体型の児童育成クラブおよび放課後子供教室の実施を進めます。

【H31.4現状】

- ・公設民営/14箇所、定員1,120人(社会福祉法人等に運営委託)
- ・民設民営/15箇所、定員 608人

計 29箇所、定員1,728人

量の見込み(計画と実績)

(単位:人,実績値:各年4月1日現在)

区分	参考	計画期間				
	H26	H27	H28	H29	H30	R1
計画値 (量の見込)	—	1,336	1,401	1,470	1,634	1,781
実績値 (申込数)	1,095	1,214	1,298	1,486	1,604	1,708
増減	—	△ 122	△ 103	16	△ 30	△ 73

確保方策(計画と実績)

(単位:人,実績値:各年4月1日現在)

区分	参考	計画期間				
	H26	H27	H28	H29	H30	R1
計画値(確保方策)	—	1,160	1,410	1,490	1,618	1,818
実績値(定員)	1,040	1,235	1,375	1,498	1,608	1,728
増減	—	75	△ 35	8	△ 10	△ 90

R1年度の 計画進捗の状況等	<p>量の見込みについては、実績値(申込数)が計画値に対して△73となった。確保方策については、実績値(定員)が計画値に対して△90となった。量の見込みの実績値(申込数)と確保方策の実績値(定員)の差については、定員が+20となった。</p> <p>平成27年度から今後定員増加が見込まれる地域へ民設児童育成クラブ整備を開始し、市域全体での定員確保を進めてきたことで、申込数に対応できる定員確保が行えた。</p>
-------------------	--

量の見込みの実績値(申込数)と確保方策の実績値(定員)の差

区分	参考	計画期間				
	H26	H27	H28	H29	H30	R1
量の見込みと確保方策の差 実績値	—	21	77	12	4	20

2. 地域子ども・子育て支援事業

(4)時間外保育事業(延長保育事業)

担当	幼児課 幼児施設課
----	--------------

勤労形態の多様化等に伴う延長保育の需要に対応するため、保育所の開所時間(11時間)を超えて保育を行います。(対象年齢:0歳児~5歳児)
【現状(H31.4)】認可保育所15園(公立3園、私立12園)、認定こども園15箇所(公立5園、私立10園)、小規模保育施設(14施設)にて実施。

¶計画と実績

(単位:人)

区分	参考	計画期間				
	H26	H27	H28	H29	H30	R1
計画値 (量の見込・確保方策)	—	1,555	1,606	2,169	2,301	2,321
実績値 (実利用者数/年)	1,202	1,389	2,052	2,252	2,176	2,940
増減	—	△ 166	446	83	△ 125	619

R1年度の
計画進捗の状況等

実績値が計画値に対して+619となった。この理由は就労形態の多様化により、利用率が増加したものと考えられる。

2. 地域子ども・子育て支援事業

(5)一時預かり事業

担当	幼児課 幼児施設課
----	--------------

保護者の急な用事や短期のパートタイムなど、家庭において保育を受けることが一時的に困難となった子どもを、認定こども園、幼稚園および保育所、その他の場所において一時的に預かり、必要な保育を行います。（対象年齢：0歳～5歳児）

【現状（H31.4）】公立幼稚園（1箇所）、公立認定こども園（5箇所）、私立幼稚園（3箇所）、私立保育所（3箇所）、私立認定こども園（6箇所）の他、小規模保育施設（7箇所）・認可外保育施設（5箇所）においても実施。

Ⅰ計画と実績

（単位：人）

区分		参考	計画期間				
		H26	H27	H28	H29	H30	R1
①幼稚園等	計画値 （量の見込・確保 保方策）	—	11,484	12,203	16,308	15,896	15,600
	実績値 （延べ利用者数 /年）	12,488	16,106	16,085	16,942	24,957	22,558
	増減	—	4,622	3,882	634	9,061	6,958
②保育所等	計画値 （量の見込・確保 保方策）	—	15,279	17,261	12,838	12,607	12,264
	実績値 （延べ利用者数 /年）	12,235	12,007	12,869	8,189	7,012	9,367
	増減	—	△ 3,272	△ 4,392	△ 4,649	△ 5,595	△ 2,897

R1年度の 計画進捗の状況等

①実績値（延べ利用者数/年）が計画値に対して+6,958となった。これは常時保育を必要としない家庭においても突発的な事情で保育が必要となったり、保護者の負担軽減のために一時的な預かりの需要が増えているものと考えられる。

②実績値（延べ利用者数/年）が計画値に対して△2,897となった。これは保育所等の整備を通じて保育定員の増を継続的に図ってきた中で、保育認定を受けているものの保育所等に入所できず一時預かりを利用してきた方が、一部保育所等に入所できるようになり、その影響が顕著に表れたものと考えられる。

2. 地域子ども・子育て支援事業

(6)病児保育事業(病児・病後児保育事業)

担当	子ども・若者政策課
----	-----------

急な病気で集団保育が難しく保護者の方が仕事で忙しいときなどに、保育士や看護師がいる専用施設で一時的に児童を預かり、保育・看護を行います。(対象年齢:6か月～小学3年生)
【H31.4現状】2箇所(病児保育室オルミス:定員4名、陽だまり:定員4名)

量の見込み(計画と実績)

(単位:人)

区分	参考	計画期間				
	H26	H27	H28	H29	H30	R1
計画値 (量の見込)	—	1,025	1,279	1,485	1,766	2,050
実績値 (延べ利用者数/年)	729	715	807	1,015	1,029	1,140
増減	—	△ 310	△ 472	△ 470	△ 737	△ 910

確保方策(計画と実績)

(単位:人)

区分	参考	計画期間				
	H26	H27	H28	H29	H30	R1
計画値 (延べ利用可能数/年)	—	1,040	1,040	2,080	2,080	2,080
実績値 (延べ利用可能数/年)	1,040	1,040	1,040	2,080	2,080	2,080
増減	—	0	0	0	0	0

R1年度の
計画進捗の状況等

量の見込みについては、実績値(延べ利用者数/年)が計画値に対して△910となった。確保方策については、平成29年度に2つ目の病児保育室開設により計画値を達成した。
量の見込みの実績値(延べ利用者数)と確保方策の実績値(延べ利用可能数)の差は+940となっているが、感染症の流行などで利用者が多くなる場合でも対応可能な保育室を確保しているため、量の見込みと確保方策に差が生じている。

量の見込みの実績値(延べ利用者数)と確保方策の実績値(延べ利用可能数)の差

区分	参考	計画期間				
	H26	H27	H28	H29	H30	R1
量の見込みと確保方策の差 実績値	—	325	233	1,065	1,051	940

2. 地域子ども・子育て支援事業

(7)子育て短期支援事業(ショートステイ・トワイライトステイ)

担当	家庭児童相談室
----	---------

◇短期入所生活援助(ショートステイ)事業
 保護者の病気等の理由により、子どもを家庭で養育できないとき、児童養護施設等で7日の範囲内で子どもを預かり養育します。(対象年齢:0歳~18歳未満)
 【H31.4現状】市内:24時間対応認可外保育施設 1箇所
 市外:児童養護施設 1箇所
 ◇夜間養護(トワイライトステイ)事業
 保護者が一時的に養育困難となった場合で市が必要と認めたととき、平日の夜間や休日等に市の指定する施設で一時的に子どもを預かり養育します。
 【H31.4現状】市内:24時間対応認可外保育施設 2箇所

計画と実績

(単位:人)

区分	参考	計画期間				
	H26	H27	H28	H29	H30	R1
計画値 (量の見込・確保方策)	—	102	125	166	175	184
実績値 (延べ利用者数/年)	116	82	158	97	158	191
増減	—	△ 20	33	△ 69	△ 17	7

R1年度の 計画進捗の状況等	令和元年度実績値については、計画値を上回りまた前年度数値と比べても利用者数は増加した。特にトワイライトステイの利用が前年に比べ多く需要があった。
-------------------	--

(8)子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)

担当	子育て相談センター
----	-----------

認定こども園、幼稚園および保育所、児童育成クラブ等への送迎サービスを中心とした、子育て援助を行う提供会員とそのサービスを受ける利用会員のコーディネートを行います。(対象年齢:3カ月~小学6年生)
 【現状】<令和元年度末時点>
 登録者数…依頼会員:1,479名、提供会員:238名、両方会員:50名

計画と実績

(単位:人)

区分	参考	計画期間				
	H26	H27	H28	H29	H30	R1
計画値 (量の見込・確保方策)	—	3,679	3,832	3,849	4,061	4,182
実績値 (延べ利用者数/年)	3,951	3,685	2,895	2,968	3,249	2,914
増減	—	6	△ 937	△ 881	△ 812	△ 1268

R1年度の 計画進捗の状況等	実績値(延べ利用者数/年)が計画値に対して△1,268となった。この理由は、頻繁に利用していた依頼会員が利用対象外になったため件数が減少したと推測される。
-------------------	---

2. 地域子ども・子育て支援事業

(9) 養育支援事業・要保護児童等に対する支援に資する事業

(養育支援ヘルパー事業、要保護児童対策地域協議会)

担当

家庭児童相談室

◇養育支援ヘルパー派遣事業

保護者の養育を支援する必要がある家庭、保護者の監護が不適切な家庭に対し、家事育児のヘルパーを派遣します。(対象年齢:0歳～5歳児)

【H31.4現状】民間ヘルパー事業所2箇所に委託。

◇要保護児童対策地域協議会

虐待を受けている子どもを始めとする要保護児童や支援の必要な児童等の早期発見や適切な保護を図るため、要保護児童対策地域協議会を設置運営します。(対象年齢:0歳～18歳未満)

¶計画と実績

(単位:人)

区分		参考	計画期間				
		H26	H27	H28	H29	H30	R1
①ヘルパー利用時間	計画値 (量の見込・確保方策)	—	424	449	619	635	652
	実績値 (延べ利用者数/年)	518	590	604	737	687	512
	増減	—	166	155	118	52	△140
②児童虐待相談対応件数	計画値 (量の見込・確保方策)	—	462	489	604	628	653
	実績値 (延べ利用者数/年)	536	647	579	702	949	1,149
	増減	—	185	90	98	321	496

R1年度の
計画進捗の状況等

①継続利用者の転出等により、実績値が計画値を下回った。新規利用者については、他制度で支援が行えたことにより、ヘルパーの利用には至らなかった。
②虐待相談件数について年々増加傾向にあるが、令和元年度実績値については+496件と、計画値を大きく上回った。

(10) 妊婦に対して健康診査を実施する事業(妊婦健診事業)

担当

子育て相談センター

安心して妊娠・出産ができるよう、妊婦健康診査費を公費負担助成し、妊婦の健康管理の充実および経済的負担の軽減を図ります。(対象年齢:すべての妊婦)

¶計画と実績

(単位:人)

区分		参考	計画期間				
		H26	H27	H28	H29	H30	R1
計画値 (量の見込・確保方策)		—	1,465	1,450	1,329	1,321	1,297
実績値 (妊婦健診受診券発行者数/年)		1,506	1,461	1,369	1,402	1,294	1,275
増減		—	△4	△81	73	△27	△22

R1年度の
計画進捗の状況等

実績値(妊婦健診受診券発行者数/年)は計画値に対して△22となった。この理由は、妊娠届件数が減少しているためと推測される。

2. 地域子ども・子育て支援事業

(11)乳児家庭全戸訪問事業

（すこやか訪問事業、養育支援訪問事業）

担当	子育て相談センター
----	-----------

◇すこやか訪問事業

法定事業として生後4か月までの乳児のいる家庭に助産師または保健師が、市独自事業として生後6か月頃に保育士が訪問し、発育・発達状況の確認と育児相談を行い、子育て支援に関する情報提供を行います。また、全数訪問することで育児支援の必要なケースを早期発見し、適切な子育て支援サービスにつなげます。（対象年齢：出生～生後6か月）

◇養育支援訪問事業

保護者の養育を支援することが特に必要と認められる児童もしくは不適切な養育状況にある保護者、または出産後の養育について出生前より支援が必要と認められる妊婦に対し、保健師が訪問し、養育に関する相談、指導、助言を行います。

計画と実績

（単位：人）

区分		参考	計画期間				
		H26	H27	H28	H29	H30	R1
①すこやか訪問事業	計画値 （量の見込・確保方策）	—	1,386	1,370	1,270	1,262	1,238
	実績値 （訪問者数/年）	1,285	1,283	1,224	1,204	1,203	1,127
	増減	—	△ 103	△ 146	△ 66	△ 59	△ 111
②養育支援訪問事業	計画値 （量の見込・確保方策）	—	208	207	175	173	169
	実績値 （延べ訪問者数/年）	202	172	150	192	189	254
	増減	—	△ 36	△ 57	17	16	85

R1年度の
計画進捗の状況等

①すこやか訪問事業については、概ね計画通りに進捗していたが、年度末には新型コロナウイルス感染症感染拡大への懸念から訪問延期・中止の希望もあり、実績値は例年より少なかった。
②養育支援訪問については、計画通りに進捗しているが、実績値は前年度比1.3の増が見られた。

2. 地域子ども・子育て支援事業

(12)多様な主体の参入促進事業

担当	幼児課
----	-----

小規模保育事業、特定教育・保育施設への民間事業者の参入促進の調査研究、多様な事業者の能力を活用した特定教育・保育施設等への設置、運営を促進します。（巡回指導員の配置）

『計画と実績〔新規設定〕

（単位：人）

区分	参考	計画期間				
	H26	H27	H28	H29	H30	R1
計画値 (量の見込・確保方策)	—	1	1	1	1	1
実績値 (巡回指導員配置数)	0	1	1	1	1	1
増減	—	0	0	0	0	0

R1年度の 計画進捗の状況等	計画どおり配置。巡回指導員の配置により、小規模保育施設の円滑な運営に寄与することができ、多様な事業者の能力を活用した保育施設の設置・運営を促進することができた。
-------------------	--

(13)実費徴収に係る補足給付事業

担当	幼児課
----	-----

特定教育・保育施設等における保育料以外の実費徴収費用（教材費、行事費、給食費等）について、低所得世帯の負担軽減を図るため、国の示す基準に基づき、費用の一部を補助します。

『計画と実績〔新規設定〕

（単位：件）

区分	参考	計画期間				
	H26	H27	H28	H29	H30	R1
計画値 (量の見込・確保方策)	—	16	18	20	22	24
実績値 (給付件数)	0	16	19	20	26	68
増減	—	0	1	0	4	44

R1年度の 計画進捗の状況等	計画値を大幅に上回った。 令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化に伴い、新たに未移行幼稚園の副食費が補助対象となったことから、給付件数が増加したものの。
-------------------	---

1. 児童虐待防止対策の充実

(1) 児童虐待防止に関する啓発の推進

担当	家庭児童相談室
----	---------

街頭啓発・パンフレットの配布・研修会の開催などを行います。

¶計画と実績

（単位：事業数）

区分	参考	計画期間				
	H26	H27	H28	H29	H30	R1
計画値	12	13	13	13	14	14
実績値	12	13	13	13	14	13
増減	0	0	0	0	0	1

R1年度の
計画進捗の状況等

コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた研修会を中止したことにより、実績値が計画値を下回った。

(2) 養育支援ヘルパー延べ利用時間

担当	家庭児童相談室
----	---------

地域子ども・子育て支援事業(P11)を再掲。

¶計画と実績

（単位：利用時間）

区分	参考	計画期間				
	H26	H27	H28	H29	H30	R1
計画値	400	424	449	619	635	652
実績値	518	590	604	737	687	512
増減	118	166	155	118	52	△140

R1年度の
計画進捗の状況等

継続利用者の転出等により、実績値が計画値を下回った。新規利用者については、他制度で支援が行えたことにより、ヘルパーの利用には至らなかった。

1. 児童虐待防止対策の充実

(3)子育て短期支援事業延べ利用日数

担当	家庭児童相談室
----	---------

地域子ども・子育て支援事業(P10)を再掲。

¶計画と実績

(単位: 利用日数/年)

区分	参考	計画期間				
	H26	H27	H28	H29	H30	R1
計画値	90	102	125	166	175	184
実績値	116	82	158	97	158	191
増減	26	△ 20	33	△ 69	△ 17	7

R1年度の
計画進捗の状況等

令和元年度実績値については、計画値を上回りまた前年度数値と比べても利用者数は増加した。特にトワイライトステイの利用が前年に比べ多く需要があった。

(4)児童虐待相談対応件数と人員配置

担当	家庭児童相談室
----	---------

地域子ども・子育て支援事業(P11)を再掲。

¶計画と実績

(単位: 対応件数)

区分	参考	計画期間				
	H26	H27	H28	H29	H30	R1
計画値	435	462	489	604	628	653
実績値	536	647	579	702	949	1,149
増減	101	185	90	98	321	496

R1年度の
計画進捗の状況等

虐待相談件数について年々増加傾向にあるが、令和元年度実績値については+496件と、計画値を大きく上回った。

2. ひとり親家庭の自立支援の推進

(1) 母子・父子自立支援員相談事業

担当	子ども家庭課
----	--------

母子・父子自立支援員が、ひとり親家庭の各種相談に応じるほか、経済的に自立し安定した生活を送れるよう就職支援や各種資金の貸付の支援を行います。

¶計画と実績

(単位:相談件数)

区分	参考	計画期間				
	H26	H27	H28	H29	H30	R1
計画値	2,270	2,300	2,330	2,360	2,390	2,420
実績値	2,378	2,639	2,219	2,240	2,147	2,028
増減	108	339	△ 111	△ 120	△ 243	△ 392

R1年度の
計画進捗の状況等

実績値が計画値に対して△392となった。件数の減少のみで、ひとり親家庭の負担や悩みが減少しているとは判断できないが、相談内容の傾向として、生活に関するものから、児童に関するものが増えてきている。

(2) 高等職業訓練促進給付金事業

担当	子ども家庭課
----	--------

ひとり親の家庭の父または母が、就職に有利な資格(看護師・介護福祉士・保育士など)を取得するために、養成機関で訓練等を受ける場合に、訓練促進給付金を一定期間支給します。

¶計画と実績

(単位:実人数)

区分	参考	計画期間				
	H26	H27	H28	H29	H30	R1
計画値	6	6	6	6	6	6
実績値	5	5	11	14	13	10
増減	△ 1	△ 1	5	8	7	4

R1年度の
計画進捗の状況等

実績値が計画値に対して+4となった。この理由は、ひとり親の自立の意識が高まったことが考えられる。

2. ひとり親家庭の自立支援の推進

(3) 母子寡婦福祉資金および父子福祉資金貸付事業

担当	子ども家庭課
----	--------

ひとり親家庭の経済的自立を促進するため、各種資金の貸付を行います。

計画と実績

(単位:貸付件数)

区分	参考	計画期間				
	H26	H27	H28	H29	H30	R1
計画値	133	135	137	139	141	143
実績値	124	130	134	136	120	120
増減	△ 9	△ 5	△ 3	△ 3	△ 21	△23

R1年度の計画進捗の状況等	実績値が計画値に対して△23となった。この理由は、他制度の利用等により、貸付の申込が少なかったため。
---------------	--

3. 障害のある子どもへの支援の充実

(1) 児童発達支援

担当	発達支援センター
----	----------

障害のある乳幼児およびその疑いのある乳幼児に対し、発達に応じた運動能力やことば、基本的社会習慣、社会性等を育てるとともに、保護者の育児についての支援を行います。

計画と実績

(単位:①延べ日数/月 ②実人数)

区分	参考	計画期間					
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	
①延べ日数/月	計画値	539	642	642	642	642	642
	実績値	565	614	579	614	579	716
	増減	26	△ 28	△ 63	△ 28	△ 63	74
②実人数	計画値	58	66	66	66	67	68
	実績値	57	64	65	68	81	117
	増減	△ 1	△ 2	△ 1	2	14	49

R1年度の計画進捗の状況等	児童発達支援は、早期の発達支援のニーズが高まっており、民間事業所の利用が増加したため、延べ日数と実人数ともに実績値が計画値を上回りました。
---------------	---

3. 障害のある子どもへの支援の充実

(2)医療型児童発達支援

担当	発達支援センター
----	----------

上肢下肢または体幹の機能に障害があり、リハビリ等の医療と児童発達支援が必要な児童に対して、治療を行うと共に日常生活の動作や集団生活への適応等に関する援助を行います。

Ⅰ計画と実績

（単位：①延べ日数/月 ②利用者数）

区分		参考	計画期間				
		H26	H27	H28	H29	H30	R1
①延べ日数 /月	計画値	25	34	34	34	34	34
	実績値	39	24	22	35	38	21
	増減	14	△ 10	△ 12	1	4	△ 13
②利用者数	計画値	4	5	5	5	5	5
	実績値	4	5	4	7	5	4
	増減	0	0	△ 1	2	0	△ 1

R1年度の 計画進捗の状況等	医療型児童発達支援は、おおむね計画通りの実績となりました。
-------------------	-------------------------------

3. 障害のある子どもへの支援の充実

(3)放課後等デイサービス

担当	発達支援センター
----	----------

小中高等学校に在学中の障害のある児童・生徒に対し、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上訓練や社会との交流促進の場、放課後等の居場所を提供します。

計画と実績

(単位:①延べ日数/月 ②利用者数)

区分		参考	計画期間				
		H26	H27	H28	H29	H30	R1
①延べ日数 /月	計画値	883	1,083	1,233	1,350	3,047	3,531
	実績値	1,095	1,571	2,191	2,931	3,489	3,842
	増減	212	488	958	1,581	442	311
②利用者数	計画値	130	156	171	188	277	321
	実績値	135	153	189	221	268	297
	増減	5	△ 3	18	33	△ 9	△ 24

R1年度の
計画進捗の状況等

放課後等デイサービスは、実人数は実績値が計画値を下回っているものの、延べ日数は計画値を上回りました。事業所数が増加したことや、一人の利用者の利用日数が増加しているためと考えられます。

(4)保育所等訪問支援

担当	発達支援センター
----	----------

集団生活への適応に専門的な支援を必要とする、保育所等を利用中の障害のある児童や保育所等の職員に対し集団生活に適応するための訓練や支援方法の指導等支援を行います。

計画と実績

(単位:①延べ日数/月 ②利用者数)

区分		参考	計画期間				
		H26	H27	H28	H29	H30	R1
①延べ日数 /月	計画値	5	5.5	6	6.5	13	14
	実績値	7.7	10.1	11.9	10	9	13
	増減	2.7	4.6	5.9	4	△ 4	△ 1
②利用者数	計画値	10	11	12	13	20	21
	実績値	12	18	19	15	15	20
	増減	2	7	7	2	△ 5	△ 1

R1年度の
計画進捗の状況等

保育所等訪問支援は、おおむね計画通りの実績となりました。

3. 障害のある子どもへの支援の充実

(5)障害児相談支援

担当	発達支援センター
----	----------

障害児通所支援のサービスを利用する児童とその家族を支援するための計画を作成します。計画には本人のニーズやその支援方法、利用するサービスを記載します。

¶計画と実績

(単位:利用者数)

区分	参考	計画期間				
	H26	H27	H28	H29	H30	R1
計画値	65	237	252	269	375	421
実績値	43	166	203	224	266	298
増減	△ 22	△ 71	△ 49	△ 45	△ 109	△ 123

R1年度の計画進捗の状況等	障害児相談支援は、障害児相談支援事業所の数が不足しているため、計画値を下回っています。
---------------	---

4. 「草津っ子」育み事業

(1)子育てのしやすさ

担当	子ども・若者政策課
----	-----------

目指す子どもの姿「草津っ子」とし、心豊かでたくましく生き、未来をつくる草津の子ども子どもたちが、健やかに育つことを願い、家庭、地域、学校、企業、市など社会全体、子どもの育ち（「草津っ子」の育み）を応援していきます。

¶計画と実績／子育てのしやすさ(アンケート調査の実施)

(単位:満足度)

区分	参考	計画期間				
	H26	H27	H28	H29	H30	R1
計画値	***	80.0%	81.0%	82.0%	83.0%	84.0%
実績値	***	80.1%	82.1%	82.9%	84.5%	85.7%
増減	***	0.1%	1.1%	0.9%	1.5%	1.7%

※「草津市は子育てしやすい所ですか。」の問いに「そう思う／どちらかというと思う」と答えた人の割合

R1年度の計画進捗の状況等	おおむね計画どおり進捗
---------------	-------------